

仮設住宅での木製ベンチの製作・設置について

1 はじめに

沿岸広域振興局農林部では、平成25年度地域経営推進費(木製ベンチ製作 de 生き生き支援事業)を活用して、11月21日から29日にかけて、釜石市と大槌町の仮設住宅団地で木製ベンチを製作・設置しましたので紹介します。

2 木製ベンチのキット化

木製ベンチは、釜石地方森林組合が伐採した山火事被害木(スギ)を、地元の製材所で加工しキット化したもの(角材を木ねじで連結するシンプルな構造)となっており、電動工具の使用によりお年寄りや女性でも簡単に組立てできるようになっています。

3 仮設住宅での木製ベンチの製作・設置

この取り組みは、昨年度から実施しているものであり、山火事被害木等の地域材の有効活用を図ると共に、仮設住宅の住民間のコミュニケーションの促進、さらには運動不足解消の一助とすることを目的としています。

本年度は、釜石市の上中島仮設住宅団地や大槌町の小槌第8仮設住宅団地等に合計20基の木製ベンチを設置しました。

釜石市の上中島仮設団地では、腕に覚えのあるご老人(元大工さん)や女性、お子さんなど6名の住民が参加し、製作した木製ベンチを団地内のコミュニティスペースに3基設置しました。



参加された住民の皆さんは、ベンチの出来ばえに大変ご満足した様子であり、さらに、自分達が自ら組み立てたことで愛着を持ってもらうことができ、早速ベンチに腰掛け、座り心地を確かめていました。



3 おわりに

今回の木製ベンチの製作・設置は、釜石市及び大槌町の多くの関係職員の皆様にご協力頂き、日程調整や自治会との連絡等を行なって頂いたことにより実施することができました。

設置した木製ベンチは、仮設住宅団地の自治会等の管理のもと今後も有効活用されることとなっています。